

レジメン名 (治療名)						
nal-IRI+5FU/LV						
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分			
膀胱癌	nal-IRI+5FU/LV	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他		
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)	
1	アルブミン懸濁型イリノテカン 【nal-IRI】	70mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	90分	Day1	
2	レボホリナート 【l-LV】	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2時間	Day1	
3	フルオロウラシル 【5FU】	2400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	46時間	Day1-2	
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		2-3週間				
総コース数及び総投与量の限界		PDまで				
プレメディケーション ポストメディケーション		5HT3拮抗薬、デキサメタゾン、アプレピタント				
禁忌事項		腸管麻痺、腸閉塞、多量の腹水・胸水、間質性肺炎、感染症合併、アタザナビル投与中の患者				
備考		・(6)はHOME POMP C-SERIES C100020を使用。 投与時間が56時間を超える場合は、自己抜針を行って良い。 ・70mg/m <sup>2</sup> で初回投与を行う場合、UGT1A1遺伝子変異の実施。変異を認めた場合50mg/m <sup>2</sup> で開始。忍容性あれば70mg/m <sup>2</sup> へ増量可。				

《投与順》

(1) 生理食塩液	50mL	
デキサメタゾン 8mg	2V	
オンダンセトロン 4mg	1A	15分
(2) 5%ブドウ糖液	500mL	
アルブミン懸濁型イリノテカン	70mg/m <sup>2</sup>	2時間
(3) 生理食塩液	50mL	90分
(4) ソルデム 3A	200mL	
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	2時間
(5) 生理食塩液	50mL	5分
(6) フルオロウラシル	2400mg/m <sup>2</sup>	
生理食塩液と合わせて	全量 95mL	46時間
(7) 生食ロック		10mL

内服制吐剤：アプレピタントカプセル 125mg 1Cap分1 1日分  
アプレピタントカプセル 80mg 1Cap分1 2日分